

九電グループにおける環境経営

環境経営の推進 _____ 49

環境活動への取り組み _____ 53

鹿児島県 桜島と桜
さくしま
いそやま
 春色に染まり始めた鹿児島県磯山公園から望む
さんどう
 錦江湾に浮かぶ雄大な桜島。



環境経営の推進

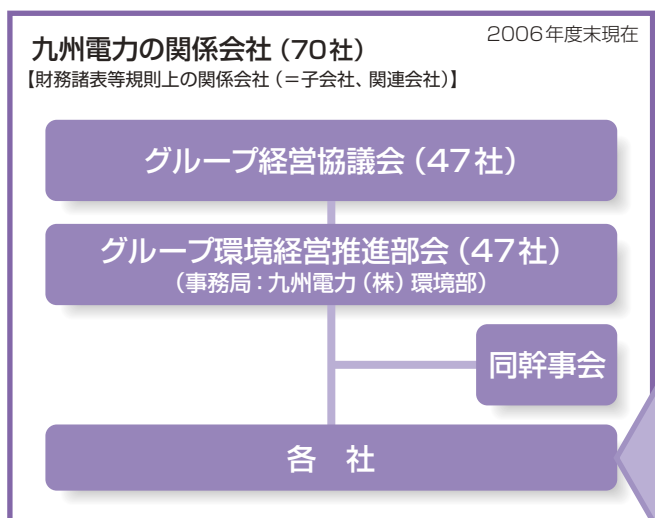
九電グループでは、地球温暖化の防止や循環型社会の実現などを企業の社会的責任と認識し、グループ一体となって環境経営を推進するとともに、各社の事業特性に応じた環境活動に取り組んでいます。

九電グループの環境経営推進体制

九電グループの環境経営は、「グループ経営協議会[※]」加入47社（2006年度末現在）を対象にしています。

当協議会の下部機関として、グループ環境経営の推進を図ることを目的に「グループ環境経営推進部会」を設置し、九電グループとしての環境経営の推進に取り組んでいます。

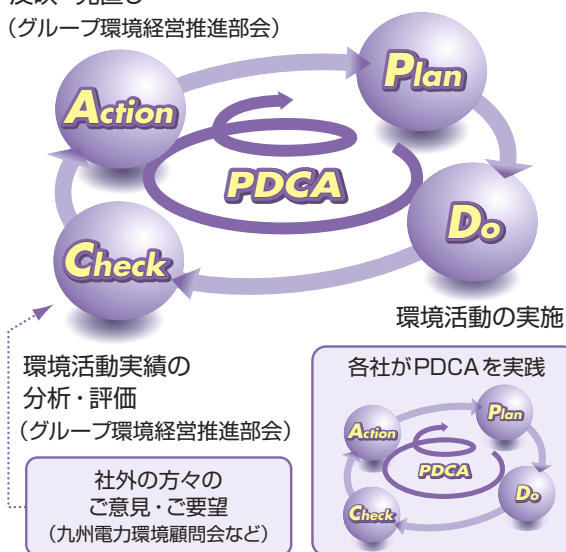
※：九州電力の関係会社のうち、本社所在地が九州域外にある会社等を除く関係会社で構成され、グループ経営に関する諸課題の検討、協議を行う機関。



PDCAサイクル

改善点を次年度計画に
 反映・見直し
 (グループ環境経営推進部会)

九電グループ環境活動
 計画を策定
 (グループ環境経営推進部会)





エネルギー関連事業



設備の建設・保守

- 九州林産(株)
発電所等の緑化工事
- 西日本プラント工業(株)
発電所の建設及び保守工事
- 九電産業(株)
発電所の環境保全関連業務
- 西日本技術開発(株)
土木・建築工事の調査及び設計
- (株)九電工
電気工事
- 西九州共同港湾(株)
揚運炭設備の維持管理及び運転業務
- (株)九建
送電線路の建設及び保守工事
- 西技工業(株)
水力発電所の水路保守
- 西技エンジニアリング(株)
電気・機械設備の調査、設計、施工管理
- 西技測量設計(株)
土木建築の調査、測量、設計、製図



資機材等の調達

- (株)キューキ
電気機械器具の製造及び販売
- 西日本空輸(株)
航空機による貨物の輸送
- 九州計装エンジニアリング(株)
電気計器の修理及び調整
- 光洋電気工業(株)
高低圧碍子等の製造及び販売
- (株)キューヘン
電気機械器具の製造及び販売
- 九州高圧コンクリート工業(株)
コンクリートポール等の生産及び販売
- 誠新産業(株)
電気機械器具の販売
- 西日本電気鉄工(株)
鉄塔・鉄構類の設計、製作及び販売



卸電気事業／ エネルギー事業

- 戸畑共同火力(株)
電気の卸供給
- 大分共同火力(株)
電気の卸供給
- 大分エル・エヌ・ジー(株)
液化天然ガスの受入、貯蔵、気化及び送出
- 西日本環境エネルギー(株)
分散型電源事業及び
エネルギー利用コンサルティング
- 北九州エル・エヌ・ジー(株)
液化天然ガスの受入、貯蔵、気化及び送出
- 九州冷熱(株)
液化酸素、液化窒素及び
液化アルゴンの製造販売
- (株)福岡クリーンエナジー
一般廃棄物焼却処理及び発電事業
- (株)福岡エネルギーサービス
熱供給事業



情報通信事業

- 九州通信ネットワーク(株)
電気通信回線の提供
(専用線、電話、ブロードバンド等)
- (株)キューデンインフォコム
IT企画・コンサル、
データセンター事業
- ニシム電子工業(株)
通信機器製造販売・工事・保守
- 九電ビジネスソリューションズ(株)
情報システム開発・運用・保守



環境・リサイクル事業

- 九州環境マネジメント(株)
機密文書のリサイクル事業
- (株)ジェイ・リライツ
使用済蛍光管及び乾電池の
リサイクル事業



生活サービス事業

- (株)電気ビル
不動産の管理及び賃貸
- (株)キューデン・グッドライフ
シニアマンション(介護付)事業
(キューデン・グッドライフ東福岡・熊本・
鹿児島)の統括)
- (株)キューデン・グッドライフ東福岡
有料老人ホーム経営及び介護サービス事業
- (株)キューデン・グッドライフ熊本
有料老人ホーム経営及び介護サービス事業
- (株)キューデン・グッドライフ鹿児島
有料老人ホーム経営及び介護サービス事業
- 森林都市(株)
不動産の賃貸及び用地業務の受託
- (株)九電オフィスパートナー
事務系間接業務の受託及び
コンサルティング事業
- (株)九電ビジネスフロント
人材派遣及び有料職業紹介事業
- 九州住宅保証(株)
住宅性能評価及び建築確認検査事業
- (株)九電ホームセキュリティ
ホームセキュリティ及び安心・見守り事業
- (株)九電シェアードビジネス
経理及び人事労務業務の受託
- メディカルサポート九州(株)
画像診断専門クリニックへの
医療機器等賃貸・リース、運営サポート
- (株)九州字幕放送共同制作センター
放送用字幕制作事業
- 九州高原開発(株)
ホテル・ゴルフ場の経営
- 伊都ゴルフ土地(株)
ゴルフ場の経営

●はグループ環境経営推進部会幹事会社



関連・詳細はホームページで [九州電力](#) | [検索](#)
企業情報 > 会社概要 > [九電グループ紹介](#)

九電グループ環境理念・環境方針

九電グループでは、環境活動への基本的な取り組み姿勢を示した「九電グループ環境理念」、及びそれを具体的に実行する際
の考え方を示した「九電グループ環境方針」を制定しています。

2002年5月制定

九電グループ環境理念

九電グループは、エネルギー供給を中核とするすべての事業領域において、環境保全意識の重要性を認識し、豊かな社会とより良い地球環境の実現を目指します。



九電グループ環境方針

- 1 環境保全に関わる法関連規制の遵守により、社会的責任を遂行します。
- 2 循環型社会の形成を目指して、エネルギーや資源の有効利用、廃棄物の再資源化により、環境負荷の低減に努めます。
- 3 あらゆる環境課題に積極的に取り組み、継続的な環境活動を通して、広く社会に貢献します。
- 4 環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

2007年度 環境活動計画

「2007年度 九電グループ環境活動計画」については、「九電グループ環境理念・環境方針」及び社会情勢を踏まえた年度活
動計画として、九電グループ一体となって環境経営に取り組むために策定しています。

2007年度 九電グループ環境活動計画

I グループ環境経営の推進

- 1 グループ環境経営推進体制の定着化・強化
- 2 法規制等の遵守
- 3 環境データの的確な把握と目標管理の推進
- 4 環境教育の実施及び環境情報の共有化

II 地球環境問題への取り組み

- 1 温室効果ガスの排出抑制への着実な取り組み
- 2 規制対象フロン^①の排出抑制への着実な取り組み

III 循環型社会形成への取り組み

- 1 リサイクルの推進
- 2 グリーン調達^②の推進

IV 社会との協調

- 1 環境情報公開の徹底



関連・詳細はホームページで [九州電力](#) | [検索](#)

環境への取り組み ▶ 九州電力・九電グループの環境活動計画 ▶ [平成19年度九電グループ環境活動計画](#)

EMSはCSR遂行のひとつのツール!!

九州計装エンジニアリング(株)は、電力量計の整備・調整・製造の主要事業のほか、電力系統保護装置保全業務や絶縁耐圧試験等、九州全域で事業を展開しています。

当社では、法令順守等のCSRを的確に遂行する必要があるため、そのツールとしてより高いレベルでのEMS構築について、検討を進めてまいりました。

今回、EMS第3段階(九電グループにおけるEMS構築体制基準)を構築しましたが、システム構築の過程で

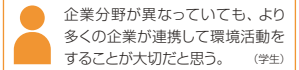
九州計装エンジニアリング(株) 代表取締役社長 **御船 正廣**

は環境側面及び環境法令等を一覧表として取りまとめることで、私をはじめ従業員も当社の環境情報を把握できたことは大きな成果であったと判断しています。

今後は、システムの効果的運用と定着化を図り、環境に配慮した事業運営に努めるとともに、経営管理パフォーマンスを向上させ、九電グループの一員として、社会的責任を果たしていきたいと考えています。



VOICE



環境マネジメントシステム

各社の環境マネジメントシステム (EMS) は、EMSの構築レベルを6段階に分類した統一的な基準 (九電グループにおけるEMS構築体制基準) に基づき、グループ環境経営推進部会の加入会社では、最低限第1段階のEMS構築を行い、各社の事業特性に応じた環境活動に取り組んでいます。また、基準は、ISO14001の2004年度版への改正及び環境省が推奨するエコアクション21認証取得制度等を踏まえた内容に見直しを行いました。

なお、2006年度は、9社 (下表 ■印) がEMSのレベルアップに取り組みました。

■ EMS構築状況

EMS構築レベル		会社名	会社名
第6段階	ISO14001認証取得 (構築範囲: 全社)	西日本環境エネルギー (株)	西日本技術開発 (株)
		(株) キューキ	西日本空輸 (株)
		九州環境マネジメント (株)	(株) キューヘン
		北九州エル・エヌ・ジー (株)	—
第5段階	ISO14001認証取得 (構築範囲: 本社または事業所)	(株) 九電工 (本社)	(株) 九建 (本社)
		九電産業 (株) (環境部)	(株) 福岡クリーンエナジー (東部工場)
		誠新産業 (株) (本社)	ニシム電子工業 (株) (本社)
第4段階	ISO14001準拠	大分エル・エヌ・ジー (株)	戸畑共同火力 (株)
		(株) 福岡エネルギーサービス	西日本プラント工業 (株) (本店)
		大分共同火力 (株)	—
第3段階	エコアクション21認証取得 ISO簡易システム	(株) ジェイ・リライツ	—
		九州計装エンジニアリング (株) (本店)	—
第2段階	文書による体制、目標管理、 順守評価の実施	九州冷熱 (株)	西九州共同港湾 (株)
		光洋電器工業 (株)	西枝工業 (株)

(注) 第1段階は23社 (上記2段階以上構築会社を除く)。



関連・詳細はホームページで [九州電力](#) | [検索](#)

環境への取り組み | 九州電力・九電グループの環境活動計画 | [九電グループにおけるEMS構築体制基準](#)

EMSレベルアップ会社紹介 (認証取得会社)

ニシム電子工業 (株)

ニシム電子工業 (株) は、通信・制御システムに関するトータルソリューションを提供する企業として事業活動を行っています。

当社の環境事業への取り組みは、電力貯蔵システム、太陽光や風力発電を組み合わせた超高輝度LED照明システム、カーシェアリング運用管理システム等の研究開発及び販売等を行っています。

今回、本社がISO14001認証を取得しましたが、ISO14001の認証取得に当たって、各部門にサポート役としてEMS推進員を配置し、職場へのEMSの定着・推進に努めるとともに、自社内で内部環境監査員を養成し組織全体の環境に対する意識向上を図りました。

当社は、これからも環境保全の重要性を認識し、豊かな社会とより良い地球環境の実現を目指して、環境に配慮した製品・サービスの提供を実践していきます。



既設太陽電池パネル(8kW) 自社佐賀工場

(株) ジェイ・リライツ

(株) ジェイ・リライツは、使用済蛍光管リサイクル及びリサイクル蛍光管販売事業 (ランプtoランプ) を行うとともに、2006年10月からは、使用済乾電池リサイクル事業にも取り組んでいます。

当社は、環境事業に取り組む責務として、ISO14001認証取得も検討しましたが、認証取得・維持に対する労力及び費用面から取得を躊躇している中、北九州市のエコアクション21認証登録支援制度の案内を受け、運用・経費面で負担が少なく、中小企業でも容易に取り組めることから、2006年9月に九電グループとして初めてエコアクション21の認証を取得しました。

今後は環境活動を効果的に進めることにより、効率的な業務改善とコスト低減等に取り組んでいきます。



使用済蛍光管リサイクル設備

環境に関する法令等の遵守

2006年度に、各社において環境関連の法令等の違反を理由として、改善勧告・命令や罰則の適用を受けた事例はありません。

今後も、環境に関する法令や地元自治体と締結している環境保全協定等の遵守はもとより、企業倫理に則った事業活動を展開する「コンプライアンス経営」を推進していきます。

環境活動への取り組み

- 環境活動実績に対するグループ会社の集計対象は、右記のとおりとなっています。
(九州電力(株)は含まず)
- 一部把握困難なデータ(テナント入居の水使用量等)は含んでいません。
- 四捨五入の関係上、合計及び百分率が合わないことがあります。

2004年度
グループ
環境経営推進部会
加入の
40社

2005年度
グループ
環境経営推進部会
加入の
44社[※]

2006年度
グループ
環境経営推進部会
加入の
47社

※：西日本環境エネルギー(株)から分社化した(株)福岡エネルギーサービスは、両社を1社として集計。

九電グループ各社の環境負荷フロー図(2006年度)



事業活動



エネルギー関連事業



情報通信事業



環境・リサイクル事業



生活サービス事業

環境活動

環境目標管理 省エネルギー推進	温室効果ガス排出抑制 規制対象フロン排出抑制	リサイクル推進 グリーン調達推進	大気汚染物質排出抑制 環境教育の実施
--------------------	---------------------------	---------------------	-----------------------

温室効果ガス排出抑制 ^{*2}	23.4千トン-CO ₂	産業廃棄物リサイクル率(量)	88%(43.4千トン)
規制対象フロン回収実施率 ^{*3}	100%	古紙リサイクル率(量)	86%(0.7千トン)
SOx(硫黄酸化物)排出抑制 ^{*4}	3.6千トン	コピー用紙再生紙使用率(量)	88%(93.5百万枚)
NOx(窒素酸化物)排出抑制 ^{*5}	1.1千トン	トイレットペーパー再生紙使用率(量)	92%(142.6千ロール)

環境負荷量

温室効果ガス排出量	131.0千トン-CO ₂	NOx(窒素酸化物)排出量	2.4千トン
オゾン層破壊物質排出量 ^{*6}	0.4ODPトン	産業廃棄物処分量	5.7千トン
SOx(硫黄酸化物)排出量	2.7千トン	古紙処分量	0.1千トン

※1：発電所内電力量等を除く購入電力量を計上。
 ※2：新エネルギー・未利用エネルギー等を利用しなかった場合をベースラインとして算出。なお、排出抑制効果が確認できたもののみを計上。
 ※3：点検時において法令基準レベル(撤去時における法定圧力)までガス回収を実施した機器の割合。
 ※4：ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。なお、排出抑制効果が確認できたもののみを計上。
 ※5：ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。なお、排出抑制効果が確認できたもののみを計上。
 ※6：各フロンのオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11重量相当に換算。

九電グループ各社の環境目標と実績

主要な環境活動は目標を設定し、環境負荷の抑制に努めており、着実にその成果が現れています。

■ 環境負荷の実績と目標

項目		単位	実績			環境目標	
			2004年度	2005年度	2006年度	2006年度～	
地球環境問題への取り組み	オフィス電力	使用量	百万kWh	32.4	32.7	31.2	—
		単位面積あたり使用量	kWh/m ²	—	139.7	132.4	137以下 (2010年度)
	自家物流輸送 (特殊車両等を除く)	低公害車 ^{※1} 導入比率	%	—	28	41	50以上 (2010年度)
		燃料消費率 (燃費)	km/ℓ	—	10.2	9.8	11以上 (2010年度)
	SF ₆ (六フッ化硫黄) 回収率	機器点検時	%	実績なし ^{※2}	100	実績なし ^{※2}	98以上
		機器撤去時	%	実績なし ^{※2}	実績なし ^{※2}	実績なし ^{※2}	99以上
	機器点検時の 規制対象フロン回収実施率		%	100	100	100	100
用紙使用量 ^{※3}		百万枚	96.3	101.0	106.0	事務用紙 使用量の節約	
上水使用量		千トン	180.1	179.9	185.8	上水使用量の節約	
循環型社会形成への取り組み	リサイクル率	産業廃棄物	%	85	87	88	85程度
		古紙	%	74	85	86	100
	グリーン調達 (再生紙使用率)	コピー用紙	%	84	86	88	100
		トイレト ペーパー	%	93	90	92	100

※1：クリーンエネルギー車と低燃費車のグループ会社保有車両台数に占める割合。
 ※2：設備は保有しているが、機器の点検・撤去の実績がないもの。
 ※3：用紙使用量の2005年度以降はA4換算枚数、2004年度は単純な使用枚数。

九電グループ各社の温室効果ガス排出量

SF₆やHFC等温室効果ガスを使用する機器の点検時は、確実な回収を実施しています。また、省エネルギー・省資源の各種活動を展開し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。

単位：千トン-CO₂

	2004年度	2005年度	2006年度
CO ₂ (二酸化炭素)	102.7	114.8	112.1
CH ₄ (メタン)	0.3	0.3 [*]	0.2 [*]
N ₂ O (一酸化二窒素)	—	0.01 [*]	0.01 [*]
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	40.4	32.3	18.6
PFC (パーフルオロカーボン)	—	—	—
SF ₆ (六フッ化硫黄)	0.02	0.01	0.04
合計	143.5	147.5	131.0

※：燃料の燃焼に伴うCH₄及びN₂Oの排出量を含む。

環境活動に関する情報の積極的公開

九電グループの環境活動については、本レポートをはじめ、九州電力ホームページにおいても情報公開しています。

今後も、九電グループ一体となった環境経営を推進するとともに、情報公開を積極的に進めていきます。



関連・詳細はホームページで [九州電力](#) 検索

ホーム >

[環境への取り組み](#)

九電グループ各社の環境会計

「九電グループにおける環境会計基準」に基づき、各社で環境活動コストを算定し、これを集約しています。

環境活動コストと効果

単位：百万円

環境活動の分類	主な活動	2005年度		2006年度		2006年度環境活動	
		投資	費用	投資	費用	項目	効果
地球環境保全	地球温暖化防止及びオゾン層保護の対策等	6,877.0 ^{*1}	281.9	545.1	290.8	温室効果ガス排出抑制量	23.4千トン-CO ₂
						オゾン層破壊物質排出量 ^{*2}	0.40DPTon
地域環境保全	大気汚染、水質汚濁、騒音・振動防止の対策等	0.0	623.7	0.0	741.7	SOx(硫黄酸化物)排出抑制量	3.6千トン
						NOx(窒素酸化物)排出抑制量	1.1千トン
資源循環	産業廃棄物、一般廃棄物の適正処理等	1.5	790.7	11.3	954.5	法令、条例に基づき適正に管理	
						産業廃棄物リサイクル量	43.4千トン
						産業廃棄物適正処分量	5.7千トン
						古紙リサイクル量	0.7千トン
グリーン調達	グリーン調達で発生した追加費用等	—	1.8	—	0.0	古紙処分量	0.1千トン
						コピー用紙再生紙使用量	93.5百万枚
環境活動の管理	環境教育、EMS運用管理、環境負荷監視・測定等	0.0	162.1	0.0	220.5	トイレットペーパー再生紙使用量	142.6千ロール
						環境経営合同研修会	39社43人参加
						環境活動先進企業見学会	35社37人参加
						環境講演会	2社合計約120人参加
						外証取得会社(ISO14001、EA21)	14社
						EMSの第2～4段階への取組会社数	10社
環境関連研究	廃棄物有効利用等	0.0	30.5	21.2	8.4	環境関連データベース項目数	858
						環境・リサイクル事業取り組み会社数	12社
社会活動	構内緑化、地域の環境活動支援等	0.0	64.2	16.0	64.7	「九州ふるさとの森づくり」植樹活動	22社延べ610人参加
						環境月間講演会	33社63人参加
						地域清掃活動	28社
						海外における植樹活動	1995年以降約1,000本(1社)
環境損傷対応	公害健康被害補償制度による汚染負荷量賦課金	—	152.9	—	198.0	—	—
合計	—	6,878.5	2,107.8	593.6	2,478.6	—	—

*1：(株)福岡グリーンエナジー(東部工場)の操業開始(2005年8月)。

*2：各フロンのオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11重量相当に換算。

環境教育・環境情報共有化

環境経営の推進を図ることを目的に、九電グループ一体となった環境教育を実施しています。

また、環境情報の共有化を目的に、九電グループでアクセス可能な「九電グループ情報ネットワーク」に九電グループ環境活動計画等の情報を掲載しています。



エコアクション21講演会

環境教育の実績

環境経営合同研修会	11月	省エネ法を巡る最近の動向と省エネ法改正 (財)省エネルギーセンター 茂長 幸夫氏 <small>しげなが ゆきお</small>
		海の中道奈多海水淡水化センター見学 <small>なつおかの なた</small>
環境活動先進企業見学会	8月	TOTO(株) 小倉第二工場 <small>こくら</small>
環境講演会	10月	九州計装エンジニアリング(株) (講師：九州電力)
	3月	九州通信ネットワーク(株) (講師：九州電力)
環境月間講演会	6月	「環境革命」～日本発の新エネルギー時代へ～ ノンフィクション作家 山根 一真氏 <small>やまね かずま</small>
その他	9月 12月	ISO14001内部環境監査員養成研修 (講師：ニシム電子工業(株))
	1月	エコアクション21講演会 (財)九州環境管理協会 松岡 信明氏 <small>まつおか のぶあき</small>

地球環境問題への取り組み

グループ環境目標を設定するとともに、九電グループ体となって以下に示す施策を実行することにより、地球環境問題へ積極的に取り組んでいます。

- オフィスの省エネ活動、エコドライブ等による温室効果ガスの排出抑制への取り組み
- SF₆（六フッ化硫黄）の回収徹底
- 規制対象フロン回収の回収徹底
- 環境配慮製品やサービスの開発・提供等

各種エネルギー等

省エネルギー、省資源等の諸活動による各種エネルギーの使用量抑制に取り組んでいます。

	単位	2004年度		2005年度		2006年度	
		会社数	使用量	会社数	使用量	会社数	使用量
電力	オフィス	32	32.4	35	32.7	38	31.2
	工場等	25	172.3	27	184.0	27	179.5
燃料	ガソリン等	34	9.1	35	8.6	36	7.2
	天然ガス	—	—	1	0.4	1	0.4
	冷暖房用	13	0.4	12	0.3	11	0.3
	A重油等	5	2.5	10	2.4	11	2.4
	LNG、LPG	6	1.7	6	1.8	6	1.8
	熱	蒸気等	—	—	3	36.4	3
水	オフィス	18	180.1	17	179.9	18	185.8
	工場等	19	725.4	22	840.7	23	834.5

※：燃料データは、単位が同じ燃料ごとに単純に使用量を合計。

オゾン層破壊物質

フロン等オゾン層破壊物質は、確実な回収を実施し、排出抑制に取り組んでいます。

単位：トン

	保有量	2004年度		2005年度		2006年度	
		会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
CFC	保有量	3	15.7	4	16.0	4	15.8
	排出量		0.5		0.3		0.3
HCFC	保有量	25	51.2	26	56.0	26	55.5
	排出量		3.3		4.6		4.9
ハロン	保有量	7	12.3	7	12.2	7	12.6
	排出量		0		0		0

単位：ODPトン

オゾン層破壊物質 排出量*	2004年度	2005年度	2006年度
	0.6	0.5	0.4

※：各フロンのオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11重量相当に換算。

自然エネルギー開発状況 ～風力・太陽光発電～

九電グループでは、風力や太陽光発電設備の設計（風況観測含む）や建設、保守等の一貫サービスを提供しています。

これまでに、小中学校や自治体、企業等110地点約9.6万kWの風力・太陽光発電設備の設置等を行っており、仮に1年間の発電電力量を石油火力発電所で発電した場合と比較すると、年間約12万トンのCO₂排出を抑制（当社試算*）したことになります。

今後も九電グループ体となって自然エネルギー等の開発を積極的に推進していきます。

風力・太陽光発電取扱い会社

- ・西日本プラント工業(株)
- ・西日本技術開発(株)
- ・(株)九電工
- ・九州計装エンジニアリング(株)
- ・ニシム電子工業(株)
- ・(株)キューキ
- ・(株)キューベン

※：風力発電利用率は20%、太陽光発電利用率は12%として算定。



（株）ユーラスエナジー 輝北・輝北ウィンドファーム
[西日本プラント工業(株)施工]

EMSと日常業務の連動を目指して

西日本技術開発(株) 企画部ISO管理課 **南新 理恵**

西日本技術開発(株)は「人と環境の調和を図り、豊かな社会づくりに貢献します」という企業理念に基づき、土木・建築施設、エネルギープラント建設の調査・計画・設計及び自然・生活環境調査等の事業活動を行っております。

ISO14001を認証取得して3年目となり、オフィス電力削減やコピー用紙のリユース率アップ等は順調に目標を達成しており、身近な環境活動に対する社員の意識向上が見られます。

一方で、社内ではEMSを運用する過程の記録等が業務の負担と考える人も多く、実際、私も環境担当になる以前は、いわゆる“ISOアレルギー”を引き起こしていました。

その経験を踏まえ、EMSをツールとして、いかに日常業務と連動した環境活動を推進するかを課題として、創意工夫を活かして取り組んでいきたいと思っています。



循環型社会形成への取り組み

グループ環境目標を設定するとともに、九電グループ一体となって右記に示す施策を実行することにより、循環型社会形成に向け積極的に取り組んでいます。

- 産業廃棄物及び古紙のリサイクルの推進
- グリーン調達の推進
- 環境配慮製品やサービスの開発・提供等

廃棄物 (リサイクル等)

廃棄物の発生量抑制及びリサイクル率の維持・向上に取り組んでいます。

		単位	2004年度		2005年度		2006年度	
			会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
産業廃棄物	発生量	千トン	27	55.9	30	84.9	32	49.2
	リサイクル率	%		85		87		88
古紙	発生量	千トン	40	0.8	44	1.0	46	0.9
	リサイクル率	%		74		85		86

紙製品 (グリーン調達等)

紙製品の使用量抑制及びグリーン調達率 (再生紙使用率) の向上に取り組んでいます。

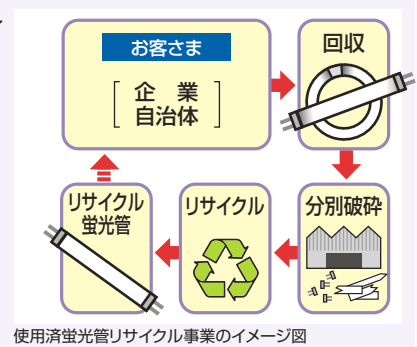
		単位	2004年度		2005年度		2006年度	
			会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
コピー用紙	使用量*	百万枚	40	96.3	44	101.0	46	106.0
	再生紙使用率	%		84		86		88
トイレットペーパー	使用量	千ロール	27	147.5	30	143.0	30	155.2
	再生紙使用率	%		93		90		92

*: コピー用紙使用量の2005年度以降はA4換算枚数、2004年度は単純な使用枚数。

(株) ジェイ・リライツ ～「ランプto ランプ」蛍光灯によるマテリアルリサイクルへの挑戦～

(株) ジェイ・リライツは、企業、学校及び自治体等から回収した使用済の蛍光灯を可能な限り元の原料(ガラス・金属・蛍光体・水銀)に戻すリサイクル事業を行っています。また、2002年から再生蛍光体を使用した全国初のリサイクル蛍光灯の販売を開始し、再生ガラスを使用した「よかランプ」、グ

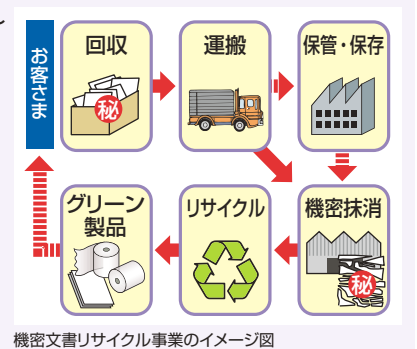
リーン購入法に適合する「トップスター」の製造(社外委託)・販売に取り組んでいます。なお、2006年10月には使用済乾電池リサイクル事業を開始し、企業及び自治体等から回収した乾電池(一次電池)を破碎・選別(金属及びマンガン等)して、精錬会社・製鋼会社等へ原材料として供給しています。



九州環境マネジメント(株) ～機密文書のリサイクルを通じ循環型社会の形成に貢献～

九州環境マネジメント(株)は、従来、シユレッター・焼却処分されていた機密文書の機密抹消・リサイクルを行う事業をはじめ、プライベートブランドのコピー用紙・トイレットペーパーといった再生紙製品の販売や文書類の保管事業を行っています。特に、お客さまから機密文書を回収する

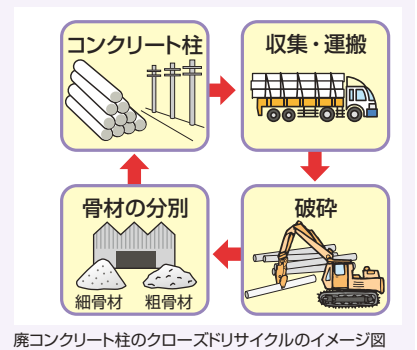
に当たっては、セキュリティに配慮した回収ボックスや書類の盗難及び飛散防止等の機能を有した専用車両を使用しています。また、処理施設については、(財)日本品質保証機構(JQA)の安全及び機密保持基準をクリアし、九州で初めてリサイクル処理センター安全対策適合認定を受けています。



九州高圧コンクリート工業(株) ～「廃コンクリート柱のクローズドリサイクル」の実現を目指して～

九州高圧コンクリート工業(株)は、コンクリート柱をはじめ、コンクリート製品の製造並びに販売を行っています。電線を支持しているコンクリート柱は、台風にも耐える高い強度を必要とし、材料には砕石などの高品質な骨材を使用しています。骨材は山から採取するため、環境破壊の一

因にもなっており、枯渇化が進んでいます。当社では、1997年より、廃コンクリート柱を破碎して再生骨材を製造し、コンクリート製品や路盤材にリユースする傍ら、クローズドリサイクルを目指し、九州電力と共同で『再生骨材を用いたコンクリート柱の実用化』研究を進めています。



地域環境との共生

各社で取り扱う法規制物質等は、関係法令に基づく適正な運用・管理に努めています。

PRTR法上の指定化学物質

PRTR法上の指定化学物質は、関係法令等に基づき適正な運用・管理に努めています。

単位：トン

	2004年度		2005年度		2006年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
取扱量		30.6		34.0		34.5
排出量(大気)	4	21.8	5	26.0	5	27.5
移動量		84.4		75.4		95.1

(注) PRTR法上の指定化学物質で届出が必要なデータを計上。

大気汚染物質

大気汚染物質(SOx、NOx)は、関係法令等に基づき適正な管理に努めています。

単位：千トン

	2004年度		2005年度		2006年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
SOx(硫黄酸化物)	3	1.3	4	1.9	4	2.7
NOx(窒素酸化物)		1.8		2.2		2.4

(注) ばい煙量等の法的測定義務等があり、SOx・NOx排出量を把握している会社のデータを計上。

PCB廃棄物等

PCB使用機器は、関係法令等に基づき適正な保管・管理に努めています。

なお、PCB廃棄物は、「PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に基づき、処理期限の2016年度までに無害化処理する予定であり、2004年度から一部の会社で処理を開始しています。

また、何らかの原因でPCBが微量混入している可能性のある機器については、絶縁油を取り扱う機会に混入検査を実施し、混入が認められた機器(19台：2006年度末時点)は、厳重に保管・管理を行っています。

2006年度PCB廃棄物の状況

単位：台

	保有状況		処理状況	
	会社数	保有量	会社数	処理量
トランス	1	21	2	8
コンデンサ	12	52	2	17
安定器	6	625		
その他	2	19		

地域社会と協調した環境活動の展開

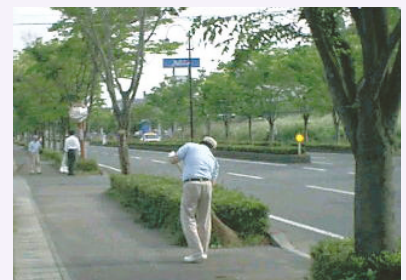
光洋電器工業(株) ～地域清掃活動～

光洋電器工業(株)は、配電用がいしと自動点滅器の製造を行っています。また、廃棄がいしを景観ブロック、水質浄化機能磁器等に活用したりサイクル製品の研究・開発も行っています。当社の特徴的な環境活動は、ノーマイカーデー(2回/月)やノー残業デー(1回/月)の実施のほか、3S運動の一環として、会社に隣接

する道路の清掃活動を2か月に1回の割合で実施しています。

また、植樹活動及び地域ボランティアにも積極的に参加しており、地域社会との共生に努めています。

今後も地球にやさしい企業を目指し、様々な環境改善活動に取り組んでいきたいと思ひます。



同社の地域清掃活動

九州ふるさとの森づくり ～植樹活動～

九州電力の創立50周年を記念して、2001年度から10年間で100万本(10万本/年間)を植樹する「九州ふるさとの森づくり」では、グループ各社もボランティア活動として積極的に取り組んでいます。

2006年度は、九州各地の42か所で森づくりを実施し、約12万本が植樹されて

おり、22社、延べ610人が参加し、地域の方々と一緒に植樹活動を実施しました。



築こう緑の大地～吹上浜植林での植樹活動